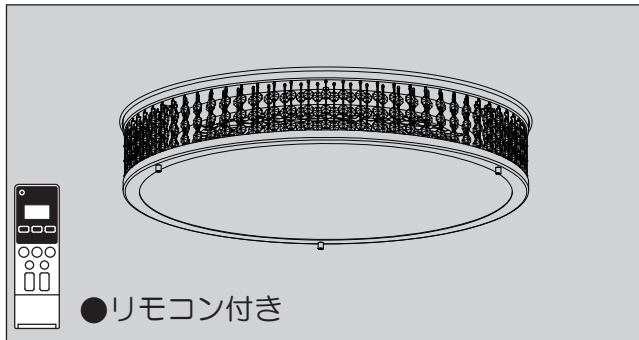


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



住宅用照明器具 (LEDシャンデリア)

品番 LGC30116
LGC40116

便利な「おまかせモード」機能付き

●「おまかせモード」をONにすると、設定時刻に自動であかりシーンが切り替わります。

(例) 切替時刻の初期設定



便利な「るすばんモード」機能付き

●「るすばんモード」をONにすると、留守番中に照明器具が自動で点灯・消灯し、在宅を装います。

(例) 初期設定



もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
各部のはたらき	7
あかりをつける	9
おまかせモードとは	10
おまかせモードの設定	11
リモコンの便利な使いかた	13
るすばんモードとは	14
るすばんモードの設定	14
故障かな?と思ったら	15
ご使用上に関するお知らせ	16
お手入れについて	17
仕様	17
保証とアフターサービス	17

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

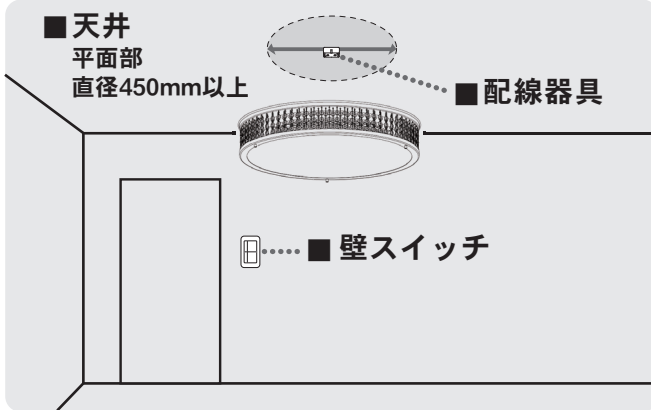


してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■天井



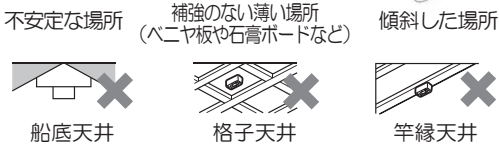
必ず守る

- 必ず上図のような平面部の直径が450 mm 以上の天井に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

- 次のような場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



禁止



◎この器具は水平天井面取付専用です。

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

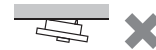


- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



禁止

斜めに取り付けられたもの



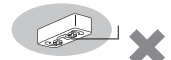
シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。



必ず守る

- アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

- 器具本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

- 地震の際は器具から離れる
ガラス部品の破損により、けがのおそれがあります。
(地震が治まった後も、ガラスの破片等がないことをご確認ください。)

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。
- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- コードは取付板と器具本体の隙間にはさみ込みのないこと
火災の原因となることがあります。
- 飾り板は確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。
- 飾りを取り付ける前に点灯確認する
点灯に不備があった場合、飾りの取り外しが困難です。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。
- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- リモコンのLED手元灯や点灯したLEDを長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

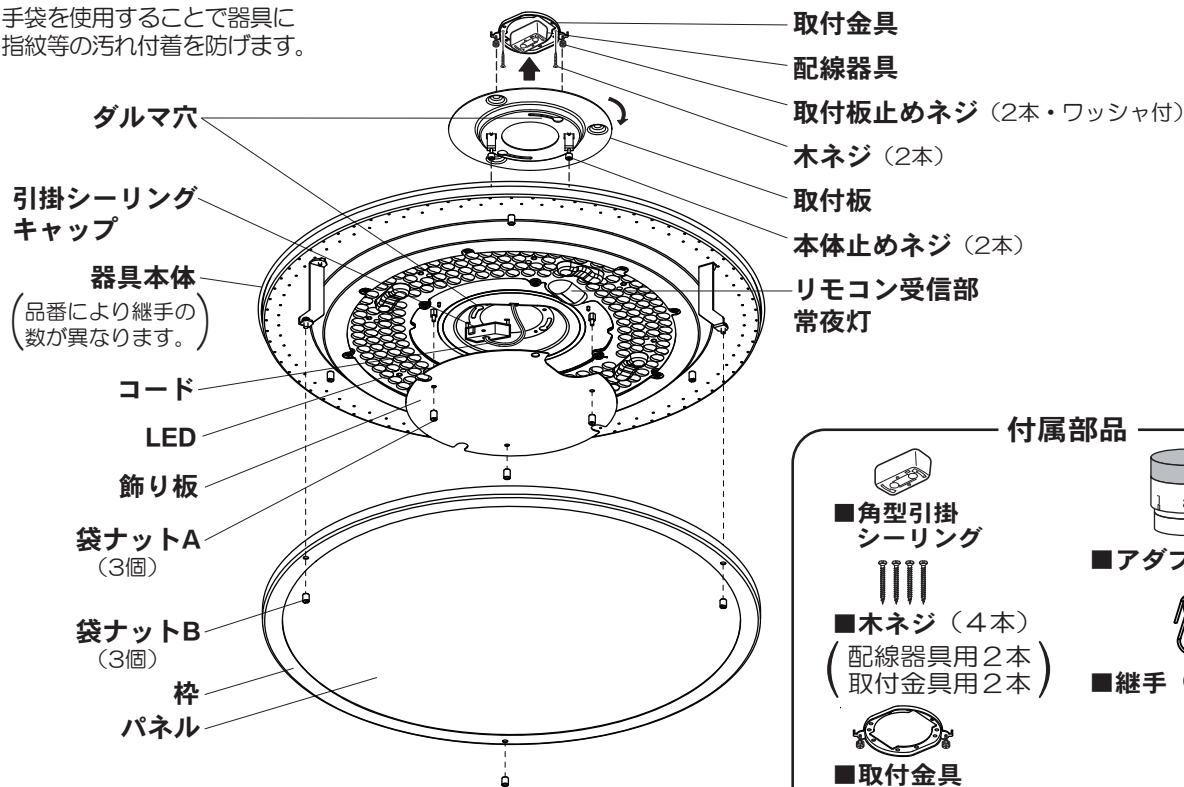
各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

取り付け前の準備

- 手袋をご使用ください。
手袋を使用することで器具に指紋等の汚れ付着を防げます。

※図は一部簡略化しています。



付属部品

- 角型引掛シーリング (Square hook ring)
- アダプタ (4個) (Adapter)
- 木ネジ (4本) (配線器具用2本、取付金具用2本) (Wood screw)
- 継手 (3個・予備) (Joint)
- 取付金具 (Mounting bracket)
- 取付板止めネジ (2本・ワッシャ付) (Mounting plate screw)

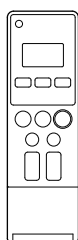
リモコン付属部品

リモコン (1個)

補修品番: HK9814MM

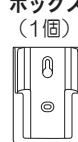
操作方法は、7~14ページ参照

液晶面に保護シートを貼付していますので、はがしてご使用ください



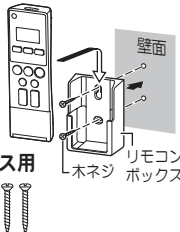
単3形乾電池 (2個)

リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)

●リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



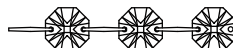
■飾り

<LGC30116の場合>

飾り1 (122本・内予備2本)

補修品番: LKGC301160B

※飾り1本に対しての補修品番です。



<LGC40116の場合>

飾り1 (146本・内予備2本)

補修品番: LKGC301160B

※飾り1本に対しての補修品番です。



※必ず壁スイッチを設けてください。☎ 16ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 取り付け前の準備をする

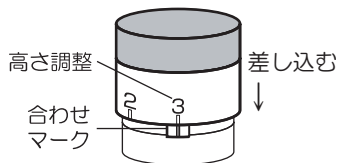
・器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

- ① 飾り板の袋ナット（3個）を取り外し、飾り板を取り外す。
- ② 取付板の本体止めネジをゆるめる。
- ③ 取付板を本体から取り外す。
- ④ 梱包材を取り除く。

- ⑤ 取付金具の取付板止めネジをゆるめる。
- ⑥ 取付金具を取付板から取り外す。
- ⑦ 引掛シーリングキャップを左にまわし、付属の角型引掛シーリングを取り外す。

2 器具本体にアダプタ（4個）を取り付ける

① 付属部品のアダプタ（4個）の位置が高さ調整「3」の位置に合せているか確認する。

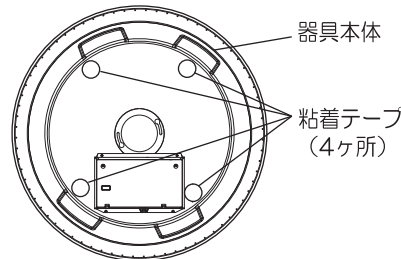


※外れた場合は高さ調整「3」の位置に合わせマークを合わせて音がするまで確実に差し込む。

② 器具本体を平面に置く。

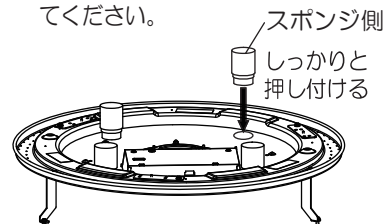


③ 器具本体裏面の粘着テープをはがす
・粘着力が弱まりますので、粘着面を手でさわったり汚したりしないでください。



④ ①のアダプタを③の粘着面にしっかりと取り付ける。

・粘着面からはみださないようにしっかりと押し付けて貼り付けてください。



3 天井についている配線器具を確認する

下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。※工事には資格が必要です。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

4 の作業へ進んでください。



角型引掛
シーリング



丸型フル引掛
シーリング



丸型引掛
シーリング



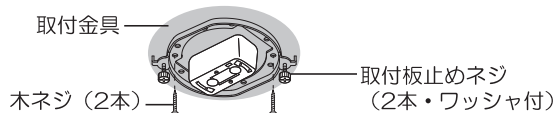
フル引掛
ローゼット



引掛埋込
ローゼット

付属の取付金具の取り付けが必要です

補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で、取付金具を取り付ける



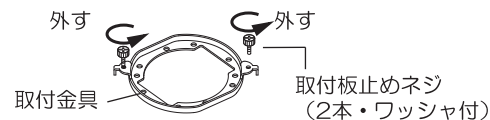
警告

取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下してけがのおそれがあります。

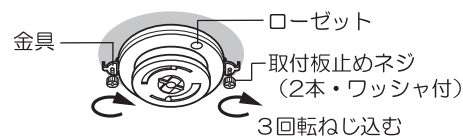
●角型引掛シーリングは取付金具のほぼ中央にくるように取り付けてください。
端部に取り付けると取付板が取り付けできない場合があります。

付属の取付板止めネジの付け替えが必要です

①取付金具に付いている取付板止めネジ（2本・ワッシャ付）を外す
（取付金具は使用しません。）

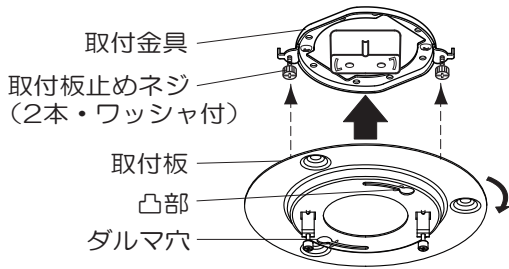


②ローゼットに取付板止めネジ（2本・ワッシャ付）を仮止める

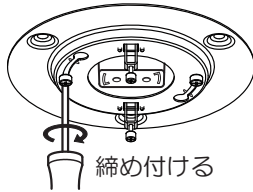


4 取付板を取り付ける

- ①取付板止めネジとダルマ穴を合わせる。
- ②取付板を押し上げ、取付板止めネジが凸部を乗り越えるまで右に回す。

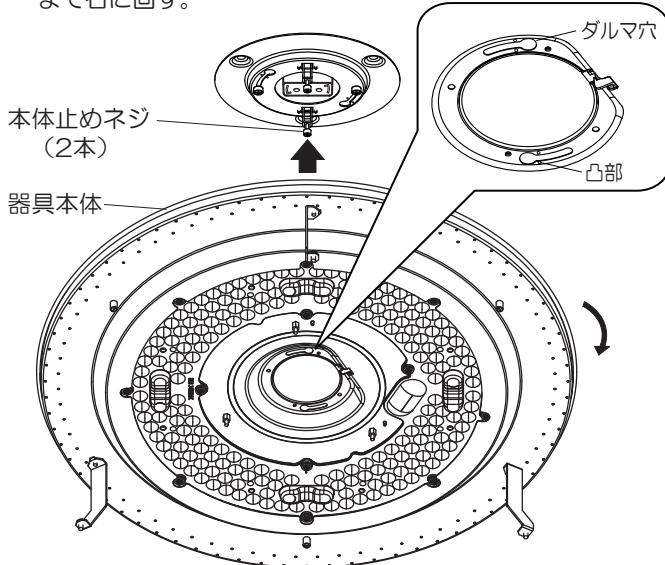


- ③ドライバーで取付板止めネジを締め付ける

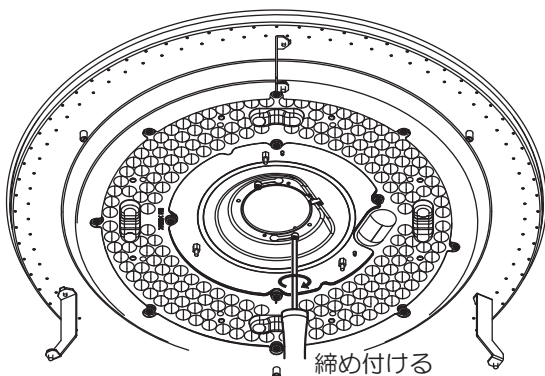


5 器具本体を取り付ける

- ①本体止めネジとダルマ穴を合わせる。
- ②器具本体を押し上げ、本体止めネジが凸部を乗り越えるまで右に回す。

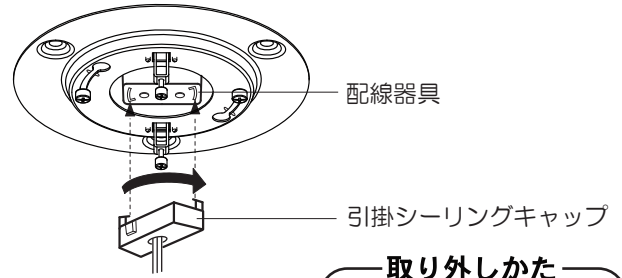


- ③ドライバーで本体止めネジを締め付ける。



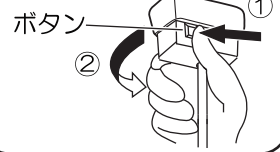
6 引掛シーリングキャップを接続する

止まるまで右に回す。



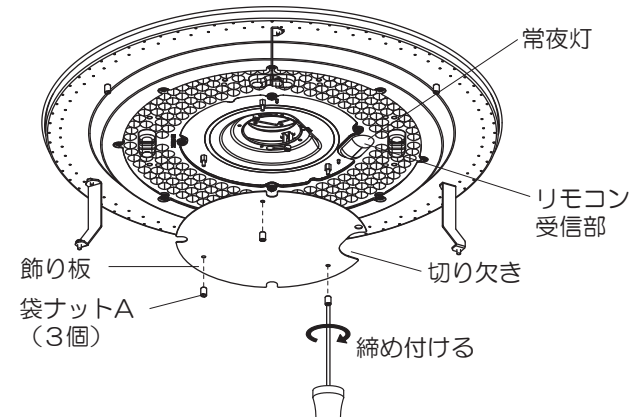
取り外しかた

- ①ボタンを押しながら
- ②左に回す



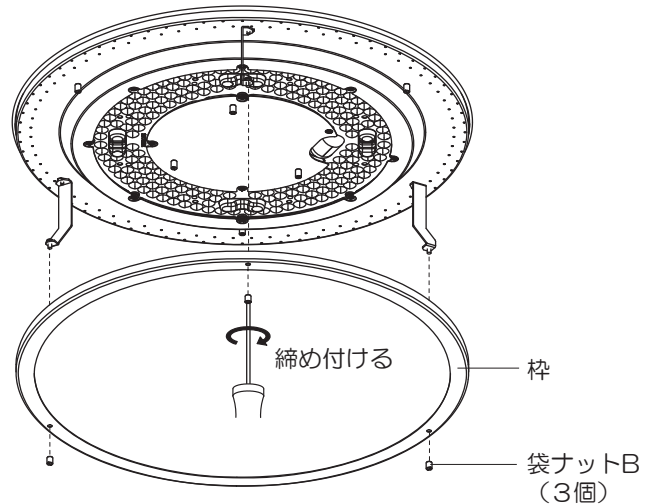
7 飾り板を取り付ける

- ①リモコン受信部と飾り板の切り欠きを合わせ、袋ナット (3個) で飾り板を取り付ける。
- ②ドライバーで袋ナットA (3個) を締め付ける。
- ③電源を入れて、常夜灯が点灯することを確認する。



8 枠を取り付ける

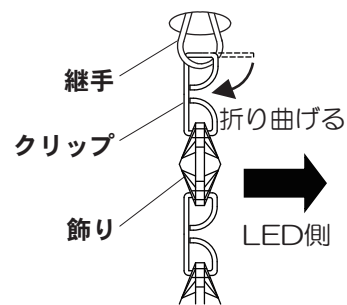
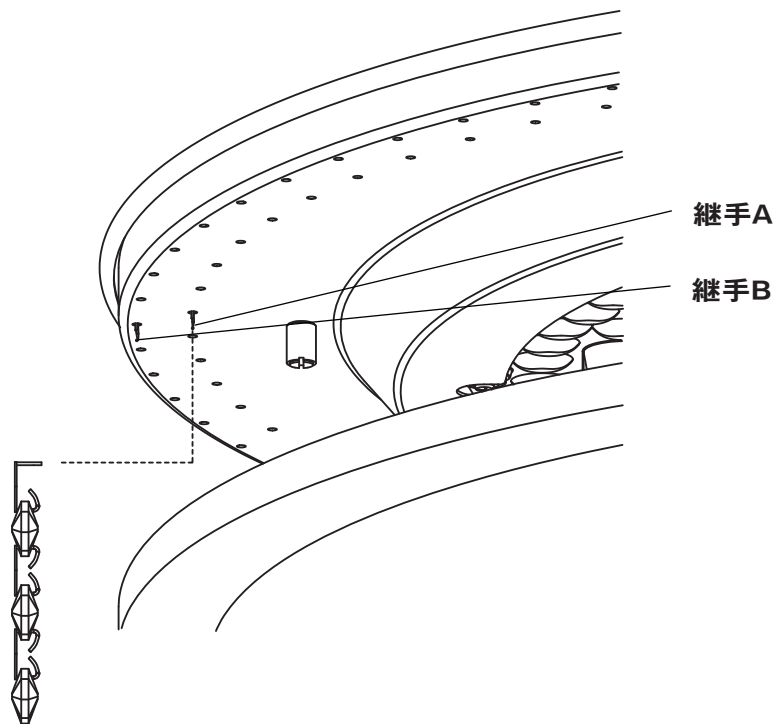
ドライバーで袋ナットB (3個) を締め付ける。



8 飾りを取り付ける

安全のため、再度電源を切ってから行ってください。

- ・飾り1のクリップを継手A・Bに取り付ける。
継手Aを取り付けてから継手Bを取り付けてください。



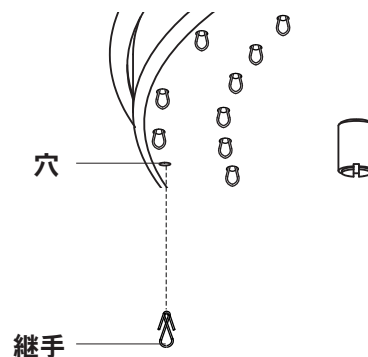
※クリップ及び飾りによじれがある場合はまっすぐにしてください。

※クリップは抜けないよう確実に折り曲げてください。

継手が外れた場合

- ① 継手を穴に差し込む。
- ② 継手を引っ張り、確実に取り付いていることを確認する。

※継手A、Bは同じ部品です。
※継手を紛失してしまった場合、予備の継手（3個）を付属部品としておりますので、上の①②の手順で取り付けてください。

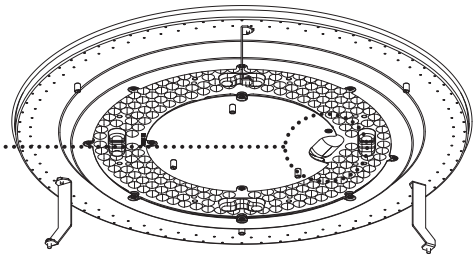
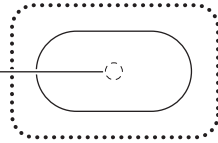


各部のはたらき

リモコン受信器 (器具本体)

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

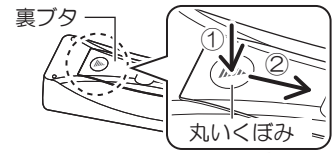


※上図は、枠を外した状態です。

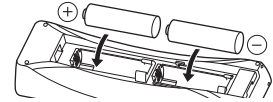
リモコンの準備

- リモコンの裏ブタを開けて、単3形乾電池を2本入れる。

- 1 リモコンの裏ブタを開ける
①裏ブタの丸いくぼみを押しながら
②スライドさせて開ける



- 2 単3形乾電池を2本入れる
乾電池の⊕⊖を正しく入れる



- 3 裏ブタをスライドさせて閉める



- リモコンの現在時刻を設定する

お買い上げ時や電池交換時の設定のしかた
現在時刻が点滅している場合

右記手順 4 から設定を行う

現在時刻を変更する場合
時刻が点滅していない場合

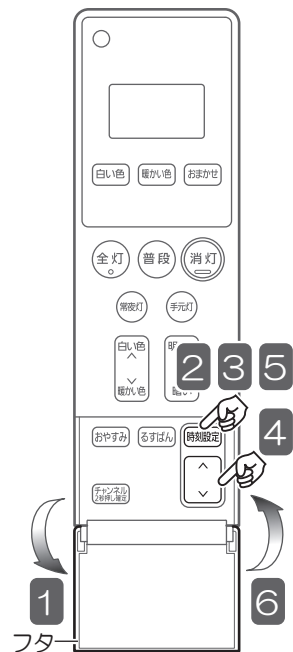
右記手順 2 から設定を行う

メモ

- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの状態では、現在時刻の変更はできません。

- 1 リモコンのフタを開ける
- 2 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す
現在時刻が点滅する (おまかせとるすばんは点灯)
- 3 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
現在時刻が点滅する
- 4 リモコンの「↑↓ボタン」を押して現在時刻を合わせる
- 5 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
現在時刻が点滅から点灯に変わり設定完了
- 6 リモコンのフタを閉じる

リモコン (フタを開けた状態)



リモコン (フタを開けた状態)

リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

送信部1
送信部2

白色ボタン

LEDが昼光色6500K※、明るさ約80%で点灯
☞ 9ページ「あかりシーンを切り替える」参照

普段ボタン

普段のあかりで点灯
(初期設定：昼白色5000K※、明るさ約85%)
☞ 9ページ「あかりシーンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼光色約6200K※、明るさ100%で点灯
☞ 9ページ「あかりシーンを切り替える」参照

常夜灯ボタン (蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定：明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 9ページ「常夜灯を点灯する」参照

調色ボタン

LEDの光の色を昼光色から電球色に連続で調節
☞ 9ページ「あかりシーンを切り替える」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 13ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル (1~3) を設定
(初期設定：チャンネル1)
☞ 13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

フタを開けて、時刻設定やチャンネル切替を行います。

LED手元灯 (橙)

手元灯ボタンを押している間はLED手元灯が点灯

暖かい色ボタン

LEDが電球色2700K※、明るさ約50%で点灯
☞ 9ページ「あかりシーンを切り替える」参照

おまかせボタン

おまかせモードを開始
☞ 11ページ「おまかせモードの使いかた」参照

消灯ボタン

手元灯ボタン (蓄光)

ボタンを押している間はLED手元灯が点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 13ページ「手元灯 (橙) を操作する」参照

明暗ボタン

LED (100%~約5%)、常夜灯 (6段階)の明るさを調節
☞ 9ページ「あかりシーンを切り替える」参照
「常夜灯を点灯する」参照

るすばんボタン

☞ 14ページ「るすばんモードの使いかた」参照

時刻設定ボタン

現在・おまかせモード・るすばんモードの時刻を設定
☞ 7ページ「リモコンの準備」参照
12ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
14ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

△Vボタン

現在・おまかせモード・るすばんモードの選択、時刻を変更
☞ 7ページ「リモコンの準備」参照
12ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
14ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

※ K (ケルビン) とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

送信のしかた

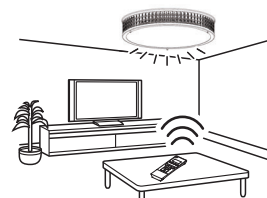
必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

- 通常の点灯・消灯の場合
「送信部1」を器具に向けて操作する。



- 「おまかせモード」「るすばんモード」「おやすみタイマー」を使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯することを確認する。



リモコン操作時の音の消しかた

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1



リモコンのフタを開けて
「リモコン送信部」を器具に向ける

2



リモコンの「普段ボタン」と
「チャンネルボタン」を同時に押す

メモ リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

あかりをつける

あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンのシーン切替ボタンで4つのあかりシーン（普段、全灯、白い色、暖かい色）が選べます。

白い色 昼光色

「白い色ボタン」を押すと、昼光色6500K[※]、明るさ約80%で点灯

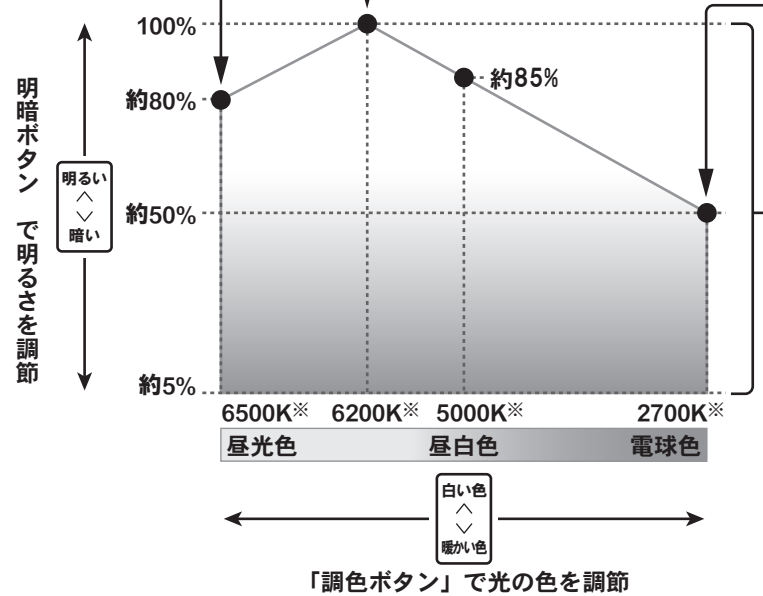
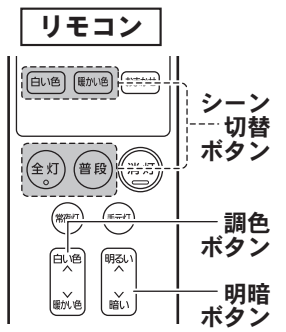
全灯 文字くっきり光

「全灯ボタン」を押すと、昼光色6200K[※]、明るさ100%（文字くっきり光）で点灯

【文字くっきり光とは】
文字が見やすい「色温度6200K」と「明るさ」で、小さな文字もくっきり見えるあかりです。読書や勉強などにおすすめです。

暖かい色 電球色

「暖かい色ボタン」を押すと、電球色2700K[※]、明るさ約50%で点灯



普段 普段のあかり

「普段ボタン」を押すと、左図の範囲内であらかじめ設定した明るさ、光色で点灯（初期設定：昼白色5000K[※]、明るさ約85%）

- 普段のあかりを調光、調色して記憶させる
- 1 **普段** リモコンの「普段ボタン」を押して普段のあかりを点灯させる
 - 2 **白い色** **明るい** / **暖かい色** **暗い** リモコンの「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節する
➡ 記憶

メモ

- LEDの明るさ、光色を調節すると、その都度記憶します。
- 「全灯ボタン」「白い色ボタン」「暖かい色ボタン」を押して、上記手順2の操作をした場合も「普段ボタン」に記憶されます。

常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

- 1 **常夜灯** リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる
- 2 **明るい** / **暗い** リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する
➡ 記憶

メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

壁スイッチで照明器具を操作する

■ 点灯・消灯する

壁スイッチ ON

点灯

前回の「明るさと色」で点灯します

壁スイッチ OFF

消灯

現在（消す直前）の「明るさと色」を記憶して消灯します

- 「おまかせモード」状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときもOFF前の点灯状態で点灯します。（リモコンの「おまかせモード」がONであれば「おまかせモード」は継続します。）
- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

■ 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

リモコンでの消灯

全灯

普段

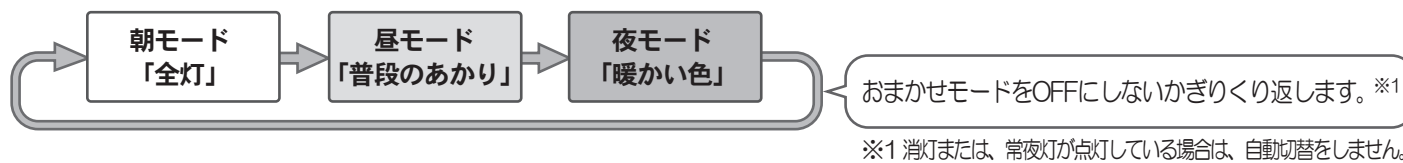
常夜灯

リモコンでLEDを調光、調色した場合や常夜灯を調光した場合は、「普段」、「常夜灯」はその点灯状態で切り替わります

- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

おまかせモードとは

設定時刻になると、自動であかりのシーンが切り替わり、生活リズムを整える環境を作ります。

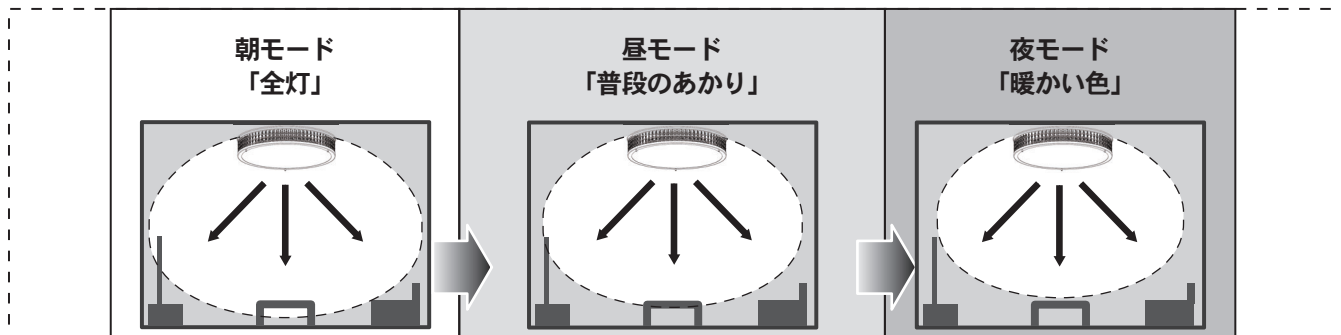


■動作イメージ

あかりの切替時刻の初期設定時刻	
「朝モード」	5:00 「全灯」へ切り替わる時刻
「昼モード」	12:00 「普段のあかり」へ切り替わる時刻
「夜モード」	20:00 「暖かい色」へ切り替わる時刻

●初期設定時刻を変更する場合は、
 12ページ「おまかせモードの
 設定時刻を変更する」参照

たとえば・・・7:00に点灯、23:00に消灯させる場合



「朝」 7:00に
5:00 リモコンで
点灯させる



リモコンの
「おまかせボタン」を押す

「昼」
12:00



*2: 設定時刻にリモコンから切替信号を自動で送信します

「夜」
20:00



23:00に 「朝」
リモコンで
消灯させる



リモコンの
「消灯ボタン」を押す

おまかせモードの使いかた

■おまかせモードをONにする

1

おまかせ

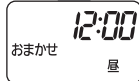
リモコンの「おまかせボタン」を押す

➔ 予め設定した時刻に応じた明るさ、光の色で照明器具が点灯する



「朝モード」の切替時刻が表示される
(初期設定：(朝)5:00)

約2秒後



「昼モード」の切替時刻が表示される
(初期設定：(昼)12:00)

約2秒後



「夜モード」の切替時刻が表示される
(初期設定：(夜)20:00)

約2秒後



現在時刻に表示が切り替わり、
時間に応じたモードが表示される



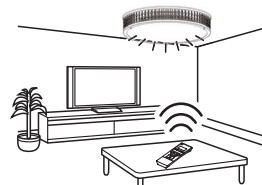
メモ

- 「普段のあかり」は、リモコンで設定した光の色で点灯します。
- 「朝モード」「夜モード」時にリモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」で調光や調色を行った場合、「普段のあかり」に記憶されます。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」が同時刻に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

2

操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く

➔ 設定した時刻になると、自動であかりシーンが切り替わる



メモ

消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動であかりシーンは切り替わりません。

■おまかせモードをOFFにする

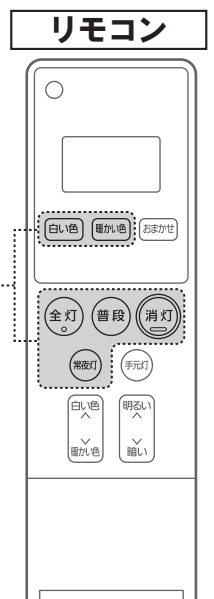
リモコンの「全灯」、「白い色」、「暖かい色」、「普段」、「消灯」、「常夜灯」のいずれかのボタンを押す

➔ リモコンの液晶パネルの「おまかせ」の表示が消え、押したボタンに応じた点灯状態に切り替わる

メモ

- 「おまかせモード」は、OFFにしないかぎり「朝モード」・「昼モード」・「夜モード」をくり返します。
例)「朝モード」「夜モード」の時間帯に壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONにした場合は、「普段のあかり」に切り替わりますが、次のモード切替時刻でそのモードに応じた点灯状態に切り替わります。(「昼モード」の時間帯の場合は、壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONにすると「常夜灯」に切り替わりますので、次のモード切替時刻になっても点灯状態は切り替わりません。)
- 壁スイッチをOFFにした場合、次にONしたときはOFF前の点灯状態で点灯しますので、「朝・昼・夜モード」の時間帯がずれる場合があります。その場合は、もう一度「おまかせボタン」を押して、時間帯に合った点灯状態にしてください。(押さなかった場合は、次のモード切替時刻で時間帯にあった点灯状態に自動切替します。)
例)「夜モード」時に壁スイッチをOFF→「朝モード」時間帯に壁スイッチをONにすると「夜モード」の「暖かい色」で点灯します。その時にもう一度「おまかせボタン」を押すと、「朝モード」の「全灯」に切り替わります。(「おまかせボタン」を押さなかった場合、次の「昼モード」の切替時刻で「普段のあかり」に自動切替します。)

いずれかを
を押す

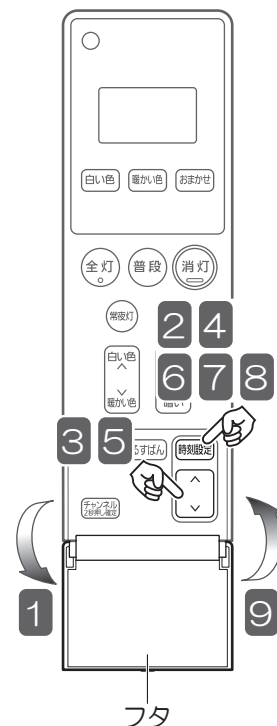


おまかせモードの設定時刻を変更する

注意


「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。
「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

リモコン (フタを開けた状態)

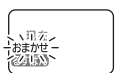


1 リモコンのフタを開ける


2 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

 現在が点滅する
(おまかせとるすばんは点灯)

3 リモコンの「上Vボタン」でおまかせに合わせる

 おまかせが点滅する
(現在とるすばんは点灯)


4 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

 おまかせの朝時刻が点滅する
(初期設定：(朝) 5:00)

5 リモコンの「上Vボタン」を押して朝時刻を変更する


●時刻は10分刻みで設定できます。

6 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

 おまかせの昼時刻が点滅する (初期設定：(昼) 12:00)
→上記手順 5 と同様に昼時刻の変更をする

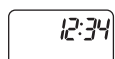
メモ 他の時間帯と重複できません。
例) 朝時刻を5:00に設定した場合
→4:50(最短の夜時間：朝時間のマイナス10分)、5:00は設定不可

7 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

 おまかせの夜時刻が点滅する (初期設定：(夜) 20:00)
→上記手順 5 と同様に夜時刻の変更をする

メモ 他の時間帯と重複できません。
例) 朝時刻を5:00、昼時刻を12:00に設定した場合
→5:00から12:00までは夜時刻の設定不可

8 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押し時刻を決定する

 12:34 現在時刻に切り替わり設定完了

●「時刻設定ボタン」を押さないと約60秒で、前回の設定に戻ります。
●一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

9 リモコンのフタを閉じる

リモコンの便利な使いかた

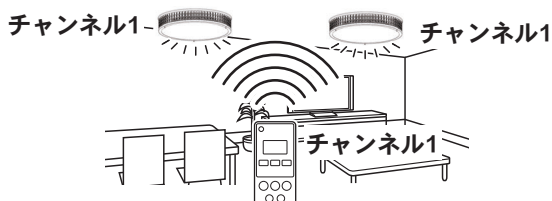
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

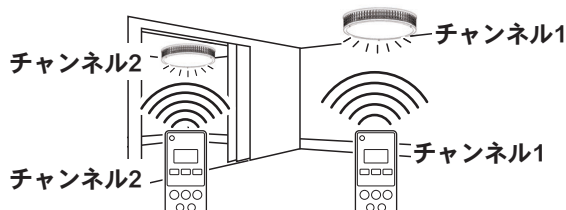
チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
- (例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くのリモコンを別々に点灯できます。

(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



1 壁スイッチON チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)

2 リモコンのフタを開けて「チャンネルボタン」を押し希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる
現在設定されているチャンネルが表示されます。その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。
(最後に操作してから約3秒後に表示は消えます。)

3 (リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて)チャンネルが表示中にもう一度「チャンネルボタン」を2秒以上押す
▶ 「ピーピー」と音がして設定完了

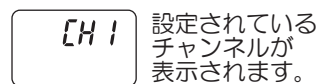
※1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

メモ

- 本製品以外の照明を操作する場合は、ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンの「全灯」「白色」「暖かい色」「おまかせ」「常夜灯」「普段」「消灯」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。



いずれかのボタンを押している間は



おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーを使用するには、リモコンの現時刻の設定が必要です。☎ 7ページ「リモコンの準備」参照

おやすみタイマーをONにすると、30分または60分後に自動消灯を行います。

■おやすみタイマーをONにする

1 リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押し希望のタイマーを選択する
(30分後消灯) (60分後消灯) (未設定・OFF)

押すごとに表示が切り替わります。

2 リモコンのフタを開けてリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く
☎ 8ページ「送信のしかた」参照

メモ リモコンのタイマー時間表示は、1分刻みで減っていきます。

■おやすみタイマーをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「おやすみ」の表示があるときに

おやすみ リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押す
▶ リモコンの液晶パネルの「おやすみ」の表示が消え、「おやすみタイマー」がOFFする

メモ

- リモコンの「消灯ボタン」を押して消灯させた場合も「おやすみタイマー」はOFFされます。
- 「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その「おやすみタイマー」はOFFされます。

手元灯(橙)を操作する

いざという時に便利な手元灯付き

手元灯

リモコンの「手元灯ボタン」を押している間、LED手元灯が点灯



注意

ひんぱんに手元灯を使用すると電池寿命が短くなります。

るすばんモードとは

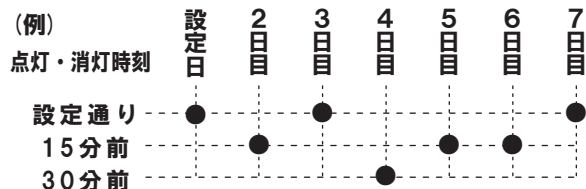
リモコンで留守中に在宅を装う「るすばんモード」をONにしておくと照明器具が自動的に点灯/消灯します。
(本商品で家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。)

るすばんモードのはたらき

- 「るすばんモード」をONにすると、留守中に照明器具が自動で点灯・消灯し、在宅を装います。



- るすばんモードはOFFにするまで毎日繰り返します。在宅を装うため、点灯・消灯時刻は「設定通り」、「15分前」、「30分前」の3パターンでランダムに変わります。(設定日は「設定通り」で動作します)



るすばんモードの設定

るすばんモードの使いかた

るすばんモードをONにする

注意 るすばんモードをONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞7ページ「リモコンの準備」参照

1 **るすばん** リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

17:00 点灯 **るすばん**、点灯時刻が表示される (初期設定：(点灯)17:00)

約2秒後

23:00 消灯 **るすばん**、消灯時刻が表示される (初期設定：(消灯)23:00)

約2秒後

12:34 **るすばん**、現在時刻に表示が切り替わり、るすばんモードがセットされる

メモ

- るすばんモードは「普通のあかり」の明るさで点灯します。
- 「るすばんモード」、「おまかせモード」、「おやすみタイマー」が同時に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

2 リモコンのフタを閉めて操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く



メモ

壁スイッチOFFでは、「るすばんモード」は動作しません。お出かけの際に照明器具をOFFする場合は、リモコンで操作してください。

るすばんモードをOFFにする

リモコンの液晶パネルに**るすばん**の表示があるときに

るすばん

リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

- ➔リモコンの液晶パネルの**るすばん**の表示が消え、「るすばんモード」がOFFする

るすばんモードの設定時刻を変更する

注意 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

1 **時刻設定** リモコンのフタを開けて「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

現在が点滅する (**るすばん** は点灯)

2 **時刻設定** リモコンの「**△▽**ボタン」で**るすばん**に合わせる

現在が点滅する (**るすばん** が点滅する (現在は点灯))

3 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

点灯時刻が点滅する

4 **時刻設定** リモコンの「**△▽**ボタン」で点灯時刻を変更する

- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 点灯時刻は30分刻みで設定できます。

5 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

消灯時刻が点滅する

6 **時刻設定** リモコンの「**△▽**ボタン」で消灯時刻を変更する

- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 消灯時刻は30分刻みで設定できます。

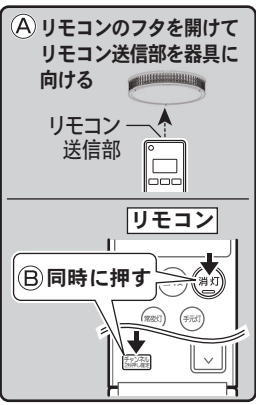
7 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

- ➔時刻の変更が完了する
- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 消灯時刻は30分刻みで設定できます。

メモ 「点灯」と「消灯」の同時刻設定はできません。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	引掛シーリングキャップが確実に接続されていない	引掛シーリングキャップを外し、再度、引掛シーリングキャップを取り付ける。	☞ 5ページ 6
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯して壁スイッチをOFFにしている	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	9ページ ☞ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯、消灯する	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	☞ 14ページ 「るすばんモードの使いかた」
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	— ☞ 9ページ 「あかりをつける」
	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」はOFFされている（「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます）	☞ 13ページ 「おやすみタイマーの使いかた」
リモコンで操作できない 液晶が表示しない ・液晶は表示している ・LED手元灯は点灯する	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	☞ 7ページ 「リモコンの準備」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを再度実施してください。	☞
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	☞ 13ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
点灯状態が勝手に切り替わる	「おまかせモード」がONになっている	「おまかせモード」をOFFにする	☞ 11ページ 「おまかせモードの使いかた」
	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	☞ 14ページ 「るすばんモードの使いかた」
	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に下記のA、Bの操作を行ってください。 A リモコンの「フタ」を開けて「リモコン送信部」を器具に向ける B リモコンの「チャンネルボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す（「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。） ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、次ページの「上記の処置を行っても現象が続く場合」本体の処置②を行ってください。また、記憶させていた普段のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしておいてください。	
「ピッピッピッピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください	
「おまかせモード」の朝・昼・夜モード、「るすばんモード」の点灯・消灯時刻が設定できない	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	☞ 7ページ 「リモコンの準備」
現在時刻が点滅している			
「おまかせモード」「るすばんモード」「おやすみタイマー」が操作できない			
現在時刻が点滅している（00:00で点滅している）			

故障かな？と思ったら（つづき）

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
「おまかせモード」で あかりのシーンが 切り替わらない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを再度実施してください。	7ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが動作する場所に置く	8ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	17ページ 「お手入れについて」
	常夜灯または、消灯になっている	常夜灯、消灯以外の点灯モードに切り替える	9ページ 「あかりをつける」
「るすばんモード」 「おやすみタイマー」で 点灯または消灯しない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを再度実施してください。	7ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが動作する場所に置く	8ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	17ページ 「お手入れについて」
現在時刻の 変更ができない	「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONになっている	「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFにしてから行う	11ページ 「おまかせモードの使いかた」 13ページ 「おやすみタイマーの使いかた」 14ページ 「るすばんモードの使いかた」
「るすばんモード」が 設定時刻より早く 点灯、消灯する場合がある	「るすばんモード」をONにして、2日目以降である（より在宅を装うため、2日目以降からは点灯、消灯時刻が設定通り、15分前、30分前とランダムに変わります。）	設定時刻通りに、点灯・消灯したい場合は、その日ごとに「るすばんモード」をONにする	14ページ 「るすばんモードの使いかた」

上記の処置を行っても 現象が続く場合	本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する (☞13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照
	リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する (☞13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照

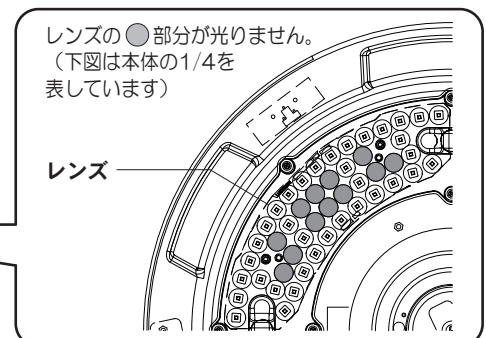
●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
 - ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・点灯状態を切り替えることができます。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。
- リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。(☞13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照
- リモコンのLED手元灯が点灯している場合やリモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作ができない場合があります。(LED手元灯の点灯中は、電池の消耗に関わらず照明器具の操作が行えません。)
- リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
- リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- LED、常夜灯にはパラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- LEDの配置の関係上、レンズの一部に光らない部分がありますが、異常ではありません。



【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

お手入れについて

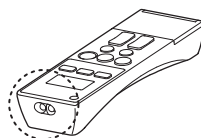
安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。

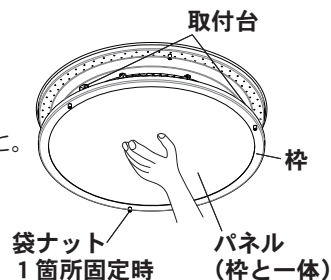
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。



リモコン送信部

枠の着脱時のご注意

枠を取付台にあてがい、水平に保ちながら、パネルの中心を支えること。手を離したり、ぐらぐらさせると枠が変形します。



仕様

保証書、または器具のラベルをご参照いただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	
□ LGC30116	AC100V	50/60Hz共用	35W	リモコンOFF時 (待機時状態)	1W以下	0.36A
□ LGC40116			40W	常夜灯のみ	約1W	0.42A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

